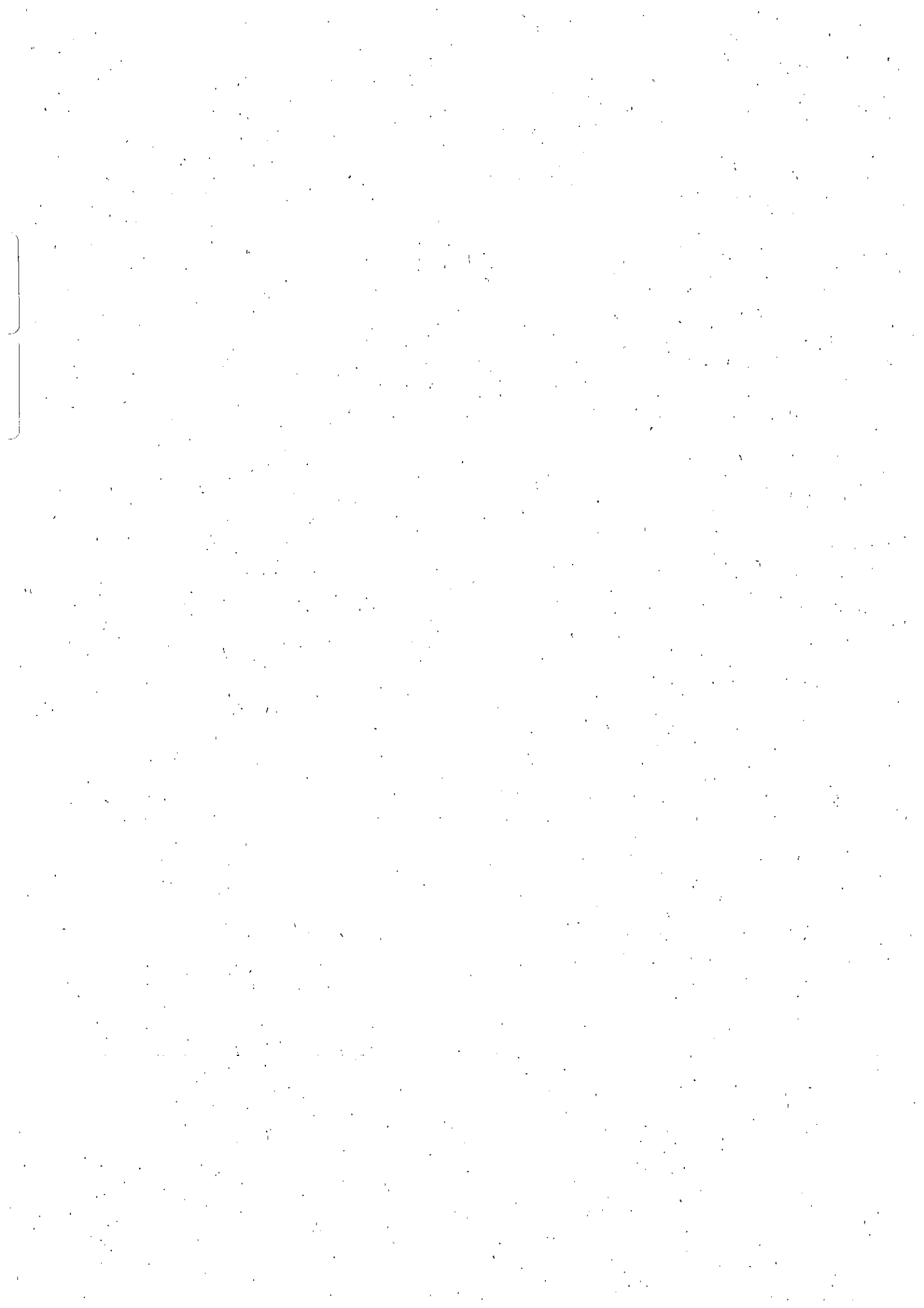


所管事項調査に関する資料

目次

- 1 (仮称)大村湾横断浮橋取付道路検討調査について …… 1 ～ 3 ページ

- 2 訴訟の現況について …… 4 ～ 10 ページ



(仮称) 大村湾横断浮橋取付道路検討調査について

1 業務目的

平成28年度に調査研究を行った(仮称)大村湾横断浮橋の取付道路となる、西彼杵半島と尾戸半島とを結ぶ区間について、ルートや概算事業費等の検討調査を行うもの。

2 検討内容

取付道路となる、西彼杵半島側の国道206号から尾戸半島東側の大村湾境界部までの区間について、複数のルートを選定し、詳細の検討を行う。

なお、取付道路については、地域に密着する道路にもなることから、以下の地元要望等を反映させながら検討を行った。

- ・西側接続部：尾戸半島西側の真珠養殖場北側で接続
- ・市道接続部：主要市道(市道琴海大平町琴海尾戸町1号線)と1箇所以上で接続

また、ルート選定に際しては、尾戸半島内のゴルフ場及び真珠養殖場に影響させないこととした。

3 検討結果

別紙「(仮称)大村湾横断浮橋取付道路ルート比較表」のとおり、以下の3ルートについて検討を行った。

第1案 尾戸半島の南側へ接続し、主要市道と1箇所で接続するルート

全長L=2,580m (うち主要な橋梁部 L≒1,160m)

第2案 尾戸半島の地元要望箇所へ接続し、主要市道と2箇所で接続するルート

全長L=2,630m (うち主要な橋梁部 L≒1,100m)

第3案 尾戸半島の地元要望箇所へ接続し、主要市道と1箇所で接続するルート

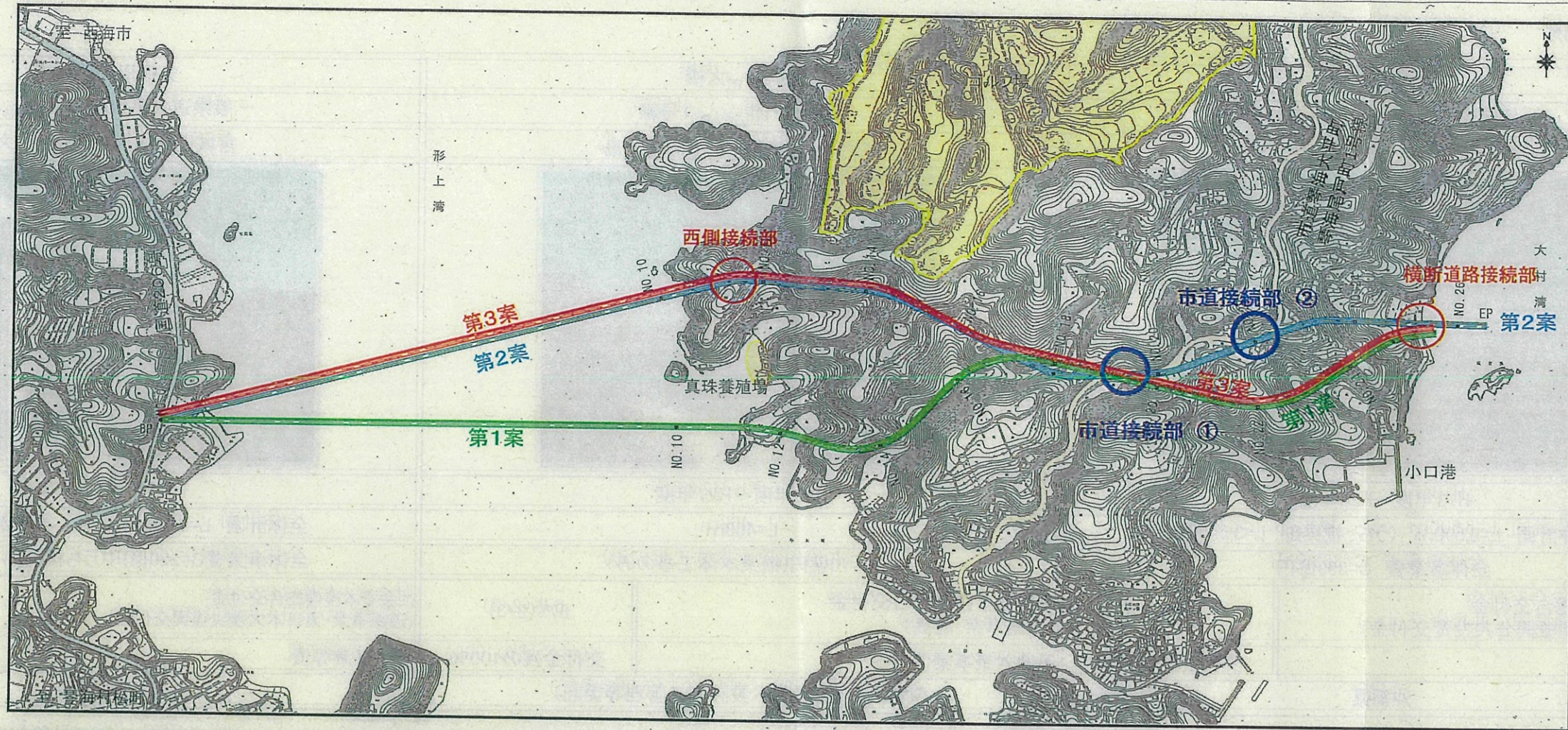
全長L=2,580m (うち主要な橋梁部 L≒1,100m)

これらを比較検討し、切土・盛土量を抑えられ、施工性が良好であり、地元要望を反映できる等、総合的に判断した結果、第1案が最も適しているのではないかと考えている。

※H28に実施した調査研究において算出された「伊王島大橋」の単価を採用して算出している。

○(仮称)大村湾横断浮橋架橋取付道路 ルート比較表

計画平面図



項目	第1案		第2案		第3案	
縦断面						
ルート概要	<p>尾戸半島の南側(真珠養殖場南側)へ接続し、市道琴海大平町琴海尾戸町1号線と市道接続部①の1箇所接続するルート</p> <ul style="list-style-type: none"> 標高が比較的低い部分を通ることが可能で、切土・盛土の高さを抑えられる。 形上湾に架橋される橋梁の高さが抑えられる。 尾戸半島東側において、大村湾横断部分との接続がスムーズとなる。 		<p>尾戸半島の地元要望箇所(真珠養殖場北側)へ接続し、市道琴海大平町琴海尾戸町1号線と市道接続部①及び②の2箇所接続するルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ルート沿いの主要市道以外の既存道路との取り合いにより、標高が高いルートとなり、谷間の盛土が高くなることで、大きな構造物が必要となる。 仮に橋梁高を低くした場合、切土量が増え、影響範囲が広範囲に及ぶため、建設費が増大する。 尾戸半島東側の接続部分が大村湾横断部分より約17m高くなる。 		<p>尾戸半島の地元要望箇所(真珠養殖場北側)へ接続し、市道琴海大平町琴海尾戸町1号線と市道接続部①の1箇所接続するルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ルート沿いの主要市道以外の既存道路との取り合いにより、標高が比較的高いルートとなり、谷間の盛土が高くなることで、大きな構造物が必要となる。 仮に橋梁高を低くした場合、切土量が増え、影響範囲が広範囲に及ぶため、建設費が増大する。 尾戸半島東側において、大村湾横断部分との接続がスムーズとなる。 	
市道との接続	線形を考慮し西側の1箇所接続		2箇所接続		線形を考慮し西側の1箇所接続	
主要構造	道路延長	L≒2,580m	道路延長	L≒2,630m	道路延長	L≒2,580m
	主要な橋梁(水面からの高さH=9m(一部15m))	L≒1,160m	主要な橋梁(水面からの高さH=9~28m)	L≒1,100m	主要な橋梁(水面からの高さH=9~28m)	L≒1,100m
	明かり部	L≒1,300m	明かり部	L≒1,290m	明かり部	L≒1,380m
概算事業費	約140億円		約145億円~150億円		約140億円~145億円	
評価	<p>推奨ルートとしては、第1案とする</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1案では、切土、盛土の高さが抑えられ、かつ橋梁の高さも低くなることから、施工性が最も高いと考える。 現段階では3案とも経済性は同程度であるが、今後、詳細の検討を進めた場合、切土、盛土が少ない第1案が最も経済的であるとの結果が得られると思われる。 					

○近年の離島架橋施工事例

橋梁名称	伊良部大橋		九島 <small>(くしま)</small> 大橋		気仙沼矢島大橋	
路線名	一般県道平良下地 <small>(ひららしもじ)</small> 空港線		市道坂下津 <small>(さかしず)</small> 1号線		一般県道大島浪板 <small>(おおしまなみいた)</small> 線	
所在地	沖縄県宮古島市 宮古島～伊良部島		愛媛県宇和島市 坂下津～九島		宮城県気仙沼市 浦島～大島	
写真						
事業年度	H13年度～H26年度		H22年度～H27年度		H23年度～H30年度	
延長	全体計画 L=6,500m (うち、橋梁部 L=3,540m)		L=468m		全体計画 L=8,000m (うち、橋梁部 L=356m)	
事業費	全体事業費 C=399億円		C=70億円(橋梁本体工事のみ)		全体事業費C=220億円(うち橋梁部 C=55億円)	
事業費内訳 (橋梁部分)	社会資本整備総合交付金 (道路事業・沖縄振興公共投資交付金)	90%	社会資本整備総合交付金 (道路事業・離島)	67%(2/3)	社会資本整備総合交付金 (道路事業・東日本大震災復興交付金)	55%
	公共事業等債	交付金残の90%	辺地対策事業債	交付金残の100%	公共事業等債	交付金残の90%
事業主体	沖縄県		伊和島市(愛媛県へ設計施工管理等委託)		宮城県	

橋梁名称	出島 <small>(いずしま)</small> 架橋		新天門橋	
路線名	町道女川出島 <small>(おながわいずしま)</small> 線		国道266号	
所在地	宮城県女川市 出島～尾浦		熊本県上天草市～宇城 <small>(うき)</small> 市	
写真				
事業年度	H23年度～H30年度		H24年度～H29年度	
延長	全体計画 L=2,920m (うち、橋梁部 L=352m)		L=463m	
事業費	全体事業費 C=93億円(うち、橋梁部C=50億円)		C=80億円(橋梁本体工事のみ)	
事業費内訳 (橋梁部分)	社会資本整備総合交付金(道路事業)	50%	国庫補助事業 (地域高規格道路等・バイパス事業)	55%
	公共事業等債	交付金残の90%	公共事業等債	交付金残の90%
事業主体	女川町(宮城県へ設計施工管理等委託)		熊本県	